

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【令和 6 年度評価】

法人名：メディカル・ケア・サービス株式会社

事業所名（事業所番号）：愛の家グループホームいわき下荒川

所在地：福島県いわき市平下荒川字諏訪下 44-1

代表者：山本 教雄

管理者：柿崎 洋子

運営推進会議を活用した事業所の評価日：令和7年3月17日

出席者：地域包括支援センター藁谷 裕子様 下荒川区長 小松 真一様

ご家族 中井 一恵様、迫田 香子様 玉川 美香様

UL 渡部 千晶、CM 屋中 祐子

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	意思を尊重し、温かく笑顔あふれるホームを目標に掲げ、ご利用者様やご家族様に愛されるホームを目指します。認知症ケアに関して真剣に取り組み、お客様の立場に立ちよりよい生活を追究している。			法人の理念を基に、あるべき姿を全員で話し合い、どうすれば実現できるかを考え目標を作成している。朝礼時に唱和し、研修時に理念の確認を行っている。笑顔で対話し、日常生活を通じて、利用者の要望に応えられるよう職員が常に利用者目線で考えている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	外出や外食。ホーム周辺のゴミ拾いやリハビリ体操に参加しています。また下荒川諏訪下隣組に入り、回覧板の受け渡しにて交流。	外出や外食。ホーム周辺のゴミ拾いやリハビリ体操に参加しています。また下荒川諏訪下隣組に入り、回覧板の受け渡しにて交流。		中、高、大学生の職場体験を受け入れている。事業所の夏祭り、クリスマス会、避難訓練、防災訓練に地域、家族の方々に参加していただくようお願いしている。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症介護実践者研修修了者、認知症ケア専門士の輩出や認知症介護研修への参加している。また認知症サポーター養成講座を開催し地域の方々に認知症の方の理解やケアの方法を広めている。	認知症介護実践者研修修了者、認知症ケア専門士の輩出や認知症介護研修への参加している。また認知症サポーター養成講座を開催し地域の方々に認知症の方の理解やケアの方法を広めている。		リハビリ体操への参加や家族会への参加、地域活動への積極的な参加取り組みの要望をもらっている。いただいた意見や要望を運営に生かせるよう取り組んでいる。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束や不適切なケアの研修を2か月に1回実施している。毎月ケアのチェックを行っている。身体拘束廃止委員会を発足し、3か月に1回委員会を開催し		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束が高齢者虐待に該当する行為として考え、身体拘束はしないことを原則にしている。事業所で、身体拘束が行われる事は、被拘束者の権利が侵害される事と考え

				ホーム内の施設を行わないケアを実践している。			ている。身体拘束に代わる介護方法の模索を計画的に進めている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束や不適切なケアの研修を2か月に1回実施、毎月ケアのチェックを行っている。社内のコンプライアンス委員会による社内けん責の告知を行っている。身体拘束廃止委員会を発足し、3か月に1回委員会を開催しホーム内の施設を行わないケアを実践している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束や不適切なケアの研修を2か月に1回実施、毎月ケアのチェックを行っている。社内のコンプライアンス委員会による社内けん責の告知を行っている。身体拘束廃止委員会を発足し、3か月に1回委員会を開催しホーム内の施設を行わないケアを実践している。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症介護実践者研修の参加や、GH協議会主催研修への参加、本社教育研修課の研修、ホーム内での研修を実施している。			認知症介護実践者研修の参加や、その他の研修への参加、ホーム内での研修を実施している。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居契約の際、重要事項説明書や契約書の内容を十分に説明し、理解納得して頂いている。			入居契約の際、重要事項説明書や契約書の内容を十分に説明し、理解納得していただいている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご家族来所時は生活面、体調面をお伝えし、CSアンケートを基にご意見を反映している。また運営推進会議においてご家族との意見交換を実施している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族との面会時また、玄関先に意見箱を設置し、定期的なアンケート調査を行い、意見を出してもらうようにしている。いただいた意見や要望は、ユニット会議、全体会議、運営推進会議で情報を共有するようにしている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	全体会議、ユニットリーダー会議、ユニット会議で職員の意見を運営に反映している。また日常的に豊富な対話により相互理解を深めている。			ユニットの人員配置、教育、環境整備、行事、感染症対策に関してして意見や提案が出されている。人員は入居者の状況に応じて適切な配置になり、職員による研修実施、定期的な環境整備の日の設定、季節ごとの行事などに反映・改善されている。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を活用し定期面談を実施3、6、9、12月にスタッフとのヒヤリング及び評価を行い、職員一人一人の悩みや、目標等を聞く機会を設けている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を活用し定期面談を実施3、6、9、12月にスタッフとのヒヤリング及び評価を行い、職員一人一人の悩みや、目標等を聞く機会を設けている。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間計画を作成し、各自に合った研修を実施している。外部研修や社内研修、エリアでの研修に参加している。資格支援制度や資格手当により職員のやる気、スキルアップを図っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間計画を作成し、各自に合った研修を実施している。外部研修や社内研修、エリアでの研修に参加している。資格支援制度や資格手当により職員のやる気、スキルアップを図っている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症介護研修やグループホーム協議会を通じて他事業所や同業者との交流を図っている。			認知症介護研修やグループホーム協議会を通じて他事業所や同業者との交流を図っている。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人と馴染みの関係を築き、共に意思を尊重しあえる関係を築いている。			ご本人と馴染みの関係を築き、共に意思を尊重しあえる関係を築いている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のこれまでの考え、地域との継続した関係づくりや人とのつながりを途切れないように大事に考えている。	ご本人のこれまでの考え、地域との継続した関係づくりや人とのつながりを途切れないように大事に考えている。		お盆やお彼岸に家族と墓参り、自宅の様子を見に行くなど、一人ひとりの生活習慣を大切にしている。昔よく行った、自宅近くの桜の花見に出かけ、懐かしい阿弥陀堂へ行く等、利用者の大切な場所と人との関係継続を支援している。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の個性を大切にし、その方にとって何が大切かを考え、パーソンセンタードケアを実施している。			日々のかかわりの中での声掛けや表情から思いを推測し、意向の把握に努めている。家族や親戚、知人の来訪時に、これまでの暮らしぶりを聞いている。嗜好品や行きたい場所、着たい服や食べたいもの等出来る限り実現に向け努力している。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族と話し合い、現状に即した介護計画を作成しご満足いただけるように配慮している。また定期的なモニタリングを実施し担当者会議を実施し情報の共有を行っている。	家族との会話の中から定期的なモニタリング担当者会議を実施し、計画作成担当者と職員が中心になり、利用者・家族・主治医と話し合い、より良い日常生活に繋がる計画作りを行っている。状態変化に応じ、医師と相談し本人・家族と話し合い臨機応変に見直している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との会話の中から定期的なモニタリング担当者会議を実施し、計画作成担当者と職員が中心になり、利用者・家族・主治医と話し合い、より良い日常生活に繋がる計画作りを行っている。状態変化に応じ、医師と相談し本人・家族と話し合い臨機応変に見直している

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に沿って、生活の様子を記録し職員間で共有し、その方に沿ったケアに反映できるように心がけている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に沿って、生活の様子を記録し職員間で共有し、その方に沿ったケアに反映できるように心がけている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通院など可能な限りスタッフが同行し、ご本人やご家族の不安や負担をできる限り軽減できるように努めている。健康で安心して生活ができるように、医療連携・他事業所との連携体制を整えている。	通院など可能な限りスタッフが同行し、ご本人やご家族の不安や負担をできる限り軽減できるように努めている。健康で安心して生活ができるように、医療連携・他事業所との連携体制を整えている。		通院など可能な限りスタッフが同行し、ご本人やご家族の不安や負担をできる限り軽減できるように努めている。健康で安心して生活ができるように、医療連携・他事業所との連携体制を整えている。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域に根差したホームづくりを目標とし、様々な形で地域活動に参加できるように働きかけている。ホームに入居しても地域へ貢献できる活動を実施している。	地域に根差したホームづくりを目標とし、様々な形で地域活動に参加できるように働きかけている。ホームに入居しても地域へ貢献できる活動を実施している。		地域に根差したホームづくりを目標とし、様々な形で地域活動に参加できるように働きかけている。ホームに入居しても地域へ貢献できる活動を実施している。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関より【2回/月】訪問診療に来院して頂き、ホームドクターとしての役割を担っていただき安心できる医療が提供されている。			家族の要望により主治医が変更するときは、訪問診療が可能な病院をお願いしている。訪問診療が必要ないときは、通院となっている。主治医以外の通院は家族対応となっているが、家族の都合で職員が通院介助し、受診結果は電話・FAXで知らせている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関との連携が保てるように、随時情報交換し、状況にあった支援ができるようにしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関との連携が保てるように、随時情報交換し、状況にあった支援ができるようにしている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約時、重度化した場合における指針、終末期の在り方についてご家族と話し合いをして、受け入れてもらっている。協力機関とも情報を共有し支援体制を整えている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約時、重度化した場合における指針、終末期の在り方についてご家族様と話し合いをして、受け入れてもらっている。協力期間とも情報を共有し支援体制を整えている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修において全職員が普通救命講習を受講し、緊急時の対応についての知識習得に取り組んでいる。定期的にホーム内での研修を実施している。			社内研修において全職員が普通救命講習を受講し、緊急時の対応についての知識習得に取り組んでいる。定期的にホーム内での研修を実施している。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年2回以上の避難訓練の実施。その都度出た問題点を検証し次に活かしているように安全管理に努めている。災害時の緊急備品を整備している。	2024年度は4月、10月に実施、災害時における研修は11月に実施している。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年2回以上の避難訓練の実施。その都度出た問題点を検証し次に活かしていけるように安全管理に努めている。災害時の緊急備品を整備している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個人を尊重し、個々にあった対応を心がけている。プライバシーに配慮し、その方としては、異性ではなく同性介助を実施している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個人を尊重し、個々にあった対応を心がけている。プライバシーに配慮し、その方としては、異性ではなく同性介助を実施している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。			利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者一人一人の嗜好を考え、できるだけ旬な食材を使い季節感を感じてもらえるような食事の提供、見た目にも工夫し提供している。また、調理や片付けを行っていただいている。行事として外食なども行っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者一人一人の嗜好を考え、できるだけ旬な食材を使い季節感を感じてもらえるような食事の提供、見た目にも工夫し提供している。また、調理や片付けを行っていただいている。行事として外食なども行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理栄養士が栄養バランスや季節に応じた献立を作成している。また、定期的に嗜好調査を実施し、食べたいものを提供することも行っている。			自立支援ケアを実施1日の水分量、摂取カロリーをデータ化し管理している。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一日3回の口腔ケアを実施。一人一人に合わせて実施している。口腔衛生管理体制加算を導入し歯科医師、歯科衛生士の指導の下、ご利用者の健康管理に努めている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一日3回の口腔ケアを実施。一人一人に合わせて実施している。口腔衛生管理体制加算を導入し歯科医師、歯科衛生士の指導の下、ご利用者の健康管理に努めている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人一人の排泄パターンを把握し、必要である場合に限り、排泄介助を行っている。又、排泄のサインを見逃さず、プライバシーに配慮した、排泄介助を行っている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自立支援ケア(水分摂取・栄養・運動)を実施し、自然排便ができるように取り組み支援している。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の希望があれば入浴を実施。時間などをきめず、本人の希望に沿って提供している。			全員ではないが、ご利用者の希望時間に実施している。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方一人一人の就寝時間や起床時間に合わせ対応している。又、その方にあった寝具を使用することにより、安全や安眠の確保を行っている。			その方一人一人の就寝時間や起床時間に合わせ対応している。又、その方にあった寝具を使用することにより、安全や安眠の確保を行っている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師による訪問薬剤管理指導を導入し、薬のセッティングや医師との連携を取って頂き、安全な服薬管理を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師による訪問薬剤管理指導を導入し、薬のセッティングや医師との連携を取って頂き、安全な服薬管理を行っている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の持っている能力に合わせ、できることを行っていたい。洗濯や調理、掃除、趣味活動などを行っていた、その方に役割や生きがいを持って生活して頂いている。	日常生活の中で、調理、掃除、洗濯、園芸買い物への外出等をスタッフと一緒にやっている。		その方の持っている能力に合わせ、できることを行っていたい。洗濯や調理、掃除、趣味活動などを行っていた、その方に役割や生きがいを持って生活して頂いている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や買い物、外食へ行くなど、日常的に外出できるように支援している。またドライブや行事での外出などへの参加等を行っている。	散歩や買い物、外食へ行くなど、日常的に外出できるように支援している。またドライブや行事での外出などへの参加等を行っている。		散歩や買い物、美容室へ行くなど、日常的に外出できるように支援しています。またドライブや行事での外出などへの参加等を行っている。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金の所持や使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族より立替金の了承を得て、日常的に近くのスーパー等に本人が買い物できるように支援している。			ご本人の要望に対し、可能な限り実施している。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をかけたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様の了承を得て、ご希望に応じ自由にやり取りできるように支援している。			ご家族の了承を得て、ご希望に応じ自由にやり取りできるように支援している。
39	居心地のよい共有空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共有の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内で季節感を味わえるように季節に合った飾り物、居室や共同スペースの清潔保持と過ごしやすい快適な温度調整・湿度設定を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内で季節感を味わえるように季節に合った飾り物、居室や共同スペースの清潔保持と過ごしやすい快適な温度調整・湿度設定を行っている。

		慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている					
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いを尊重し、食べ物や飲み物、本人の欲しいものなどがある場合は一緒に買い物に出かけ楽しむ。本人が望むことなどを自己決定できるように働きかけている。			本人の思いを尊重し、食べ物や飲み物、本人の欲しいものなどがある場合は一緒に買い物に出かけ楽しむ。お酒やタバコ等、本人が望むことなどを自己決定できるように働きかけている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。			利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人との良好な関係を構築し、その方の些細な体調変化等に気づくように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人との良好な関係を構築し、その方の些細な変化に気づくように努めている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の個性を大切にし、その方にとって何が大切かを考え、ケアを実施している。			一人一人の個性を大切にし、その方にとって何が大切かを考え、パーソンセンタードケアを実施している。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人にとって大切なものななじみのものをご家族に持参していただき囲まれ生活している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人にとって大切なものななじみのものに囲まれ生活している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。	ご利用者の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している		ご利用者の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いを尊重し、本人が望むことなどを自己決定できるように働きかけている。			本人の思いを尊重し、本人が望むことなどを自己決定できるように働きかけている。

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内でのご自身の役割があ り、スタッフやご利用者との会話 を楽しんでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内でのご自身の役割があり、 スタッフやご利用者との会話を楽し んでいる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	回覧板の受け渡し、散歩がてら近隣の ショップに買い物に行く等、交流ができる ように配慮している。	回覧板の受け渡し、散歩がてら近隣のショッ プに買い物に行く等、交流ができるように配 慮している。		回覧板の受け渡し、散歩がてら近隣のショ ップに買い物に行く等、交流ができるように 配慮している。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との協力・連携を大切に考え、地 域の行事に積極的に参加し、避難訓練 や事業所の行事に参加を呼び掛け、幅 広い世代の方に参加してもらい、事業所 を知って貰うようにするなど、地域密着型 介護サービスの役割を理解している。 管理者は職員との連携を図り、職員の意 見や要望を事業所運営に大切なことと考 え、職員の自主的な活動や取り組みが 活発になっている。	地域との協力・連携を大切に考え、地域 の行事に積極的に参加し、避難訓練や事業所 の行事に参加を呼び掛け、幅広い世代の方 に参加してもらい、事業所を知って貰うよう にするなど、地域密着型介護サービスの役割 を理解している。 管理者は職員との連携を図り、職員の意見 や要望を事業所運営に大切なことと考 え、職員の自主的な活動や取り組みが活発になっ ている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との協力・連携を大切に考え、地域 の行事に積極的に参加し、避難訓練や事業所 の行事に参加を呼び掛け、幅広い世代の方 に参加してもらい、事業所を知って貰うよう にするなど、地域密着型介護サービスの役割 を理解している。 管理者は職員との連携を図り、職員の意見 や要望を事業所運営に大切なことと考 え、職員の自主的な活動や取り組みが活発になっ ている。

目標達成計画

作成日：2025年3月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	ご利用者個々の、水分摂取や摂取カロリーや栄養成分など明確な目標が設定されているが、達成できていない日がある。	個人差はあるが、水分摂取量1500CC以上、植物性蛋白質摂取、1500kcal以上とし、摂取量の確認と達成。	自立支援介護を実施する。水分摂取量1500c以上、たんぱく質を多く含む食事とビタミンミネラルをバランスよく摂取していただき、週単位で達成度の確認。	12ヶ月
2	31	下剤に頼らず自然排便が出来るようになる。	薬に頼らず、自然排便が出来るようになる。	水分摂取量と食事、栄養バランスを考えた食事と、PTから指導を受けた、一人ひとりに合わせた毎日の立位運動や歩行運動を実施する。	12ヶ月
3	25	避難訓練を実施しているが、地域の方に参加して頂けていない。	地域の人へ参加を要請していき、協力を得られるような体制を整える。	・防災訓練の案内を地域住民へお知らせする。 ・運営推進会議での参加要請。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。